

クロネコ 日記。

① シェパードを助ける

シェパードが歩いている。
東京都世田谷区松原。都心へ
通勤するのに遠すぎず近すぎ
ない閑静な住宅地。そこに首輪
のはずれた中型犬は、ちいさな
事件だ。だれかが呼んだのか、
お巡りさんまで現れた。――
「この子は、ロッキーですよ」。
横からクロネコヤマトのセー
ルスドライバー(SD)が、声を
かけた。ちいさな事件はたち
まち解決した。

松原エリアを担当するSD、
森英晃は新スリーター(リヤ
カー付き電動自転車)で集配し
ている。ガソリンも使わず空気
も汚さない最先端(↑)のシス
テムだ。以前の担当エリアは
宅急便車(自動車)で集配して
いた。確かに、多くの荷物を積
めるし、広いエリアにお届けす
ることもできる。しかし、いま
と比較すると、お客様との距離
が遠かった気がする。それが
自分の足でお届けするよう
になり、お客様ひとりひとりの
顔がよりはっきりするよう
になった、と森は言う。

「飼い主の方がわかりますので、
大丈夫ですよ」。森は迷いなく
連絡した。ほどなく飼い主が
現れ、松原には安心が戻った。



クロネコヤマトのSDなら、飼い
犬の顔も、その名前までも覚え
ています。それは荷物の集配
とは、関係のないことかもしれ
ません。それでも、地域のなか
で働くことは、地域のために
働くこと。荷物だけではない
何かを地域にお届けできれば
と、クロネコヤマトは日々、考え
ています。

松原宅急便センター
森英晃SD

